

LIBERAL&DEMOCRATIC

# 自由民主

発行所  
自由民主党本部  
郵便番号 100-8910  
東京都千代田区永田町1-11-23  
電話 東京 03(3581)6211(代表)  
<毎週火曜日発行>



自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

## 自民党長崎県連新春号

### 自民党長崎県連は

# 「国民のために働く」のスローガンのもとに地域を守る!!



▲中村法道知事へ要望

日頃から、自由民主党長崎県支部連合会の運営、活動に温かいご理解、ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

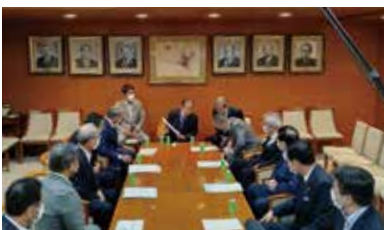
昨年9月の菅義偉総裁の総理就任を受け、責任政党として「国民のために働く」のスローガンのもと、さらに県連は、中村法道長崎県知事を支える県政与党として

確固たる政治姿勢を示し、着実な政策実現に注力しております。

昨年は、新型コロナウイルス感染症との戦いに明け暮れた年でした。県連は、3月の壱岐市での感染症1例目の確認を受け直ちに、「自民党長崎県連新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、6月末まで、土日休日も窓口を開き、県民の皆さまからの問い合わせに県議と事務局職員で対応してまいりました。

このほかにも、政務調査会が中心となって市町、各支部などからそれぞれの厳しい実態をお聞きし、県選出国會議員と共に県に対して要望内容の着実な予算化や事業進捗のフィードバックを求めるなど積極的な取り組みを続けています。このような議会活動に、県も一定程度応え、関係団体から感謝の声も多数賜りました。

また、九州新幹線西九州ルート整備促進、特定複合観光施設(IR)区域認定、西九州自動車道、島原道路、東彼杵道路の推進など、県政の重要事業を、国會議員の先生方と連携し、引き続き強力に政府に要請してまいります。



▲自民党二階幹事長への新幹線要望

さらに、自民党の党是である憲法改正にも引き続き注力し、憲法研修会の開催や支持賛同者の拡大活動を進めております。

党勢拡大については、わが党を支えてくださっているのは、地域支部、職域支部の皆さんと地方議員、党員、党友の方々であること

を基本に活動を進めています。令和元年の党員数は、24,608人、九州では2位を誇り、党が定める党員獲得率では、九州1位、全国8位と、皆さまのご協力のお陰をもち、党本部から6年連続の優秀党組織として表彰されております。

なお、昨年の県連定期大会は、コロナ感染拡大防止の観点から、党本部の定期党大会と同様に中止といたしました。そのため、常任総務の皆様には、大会の議決に代わる書面での審議をお願いするなど、役員各位にご心配とご迷惑をおかけしましたことを改めてお許し願います。本年も参加者の安全を第一に、感染動向を注視しながら定期大会、政治経済セミナー、出島塾などの開催を計画してまいります。

県議会の会派構成についても触れさせていただきます。現在自民党所属の県議は27名であり、定数46名の過半数を有しておりますが、二つの会派に分かれた状況が続いており、党員の皆さまに多大なご心配をお掛けしております。

私どもは、昨年来、県議会本会議ごとに議員総会を開催しており、政調会はじめ党県議団としての議会活動を進める中で、融和を図る努力を続けています。今後も党の在るべき姿を役員はじめ皆さんで考えてまいりますので、ご理解の程お願い申し上げます。

そして、今年は10月までに衆議院議員選挙や総裁選も行われます。常在戦場と肝に銘じるとともに、国民、県民のために力を尽くす決意です。

結びに、本年も地域支部、職域支部の皆さん、党員、党友の方々の温かいご理解とご支援を引き続き賜りますようお願いいたしますとともに、皆さまのご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。

自民党長崎県連幹事長  
外間 雅広



▲農業団体との意見交換会

## — コロナ禍の中、地域活性化と党勢拡大を進める長崎県連から —

### ～県連政務調査会の活動～

政務調査会では、政策立案のための調査や研究、組織・諸団体からのヒアリングを行い、政策を実現させるべく党本部や県に対して働きかけています。

昨年はコロナ禍で、活動自粛もありましたが、7月以降県内21市町を訪問し、新型コロナ対策に対する現状の報告を受け、県の対策の概要説明・県への要望の聞き取りを行いました。また、職域支部などの団体とも意見交換会を設け、現状把握と要望などを随時取りまとめ、知事や党本部へ要望し、施策へ反映させました。

また、人口減少問題が喫緊の課題となる中、人材確保部会を立ち上げ、「新産業・建設業」、「農林水産業」、「医療福祉」の分野で、関係団体への調査を行い、知事に提言を行いました。引き続き、提言の検証を行い、今後の活動につなげてまいります。

その他、台風災害の現地調査や、各種団体との意見交換会など、年間を通して精力的に活動を行いました。

今後も前田哲也政調会長を中心に、積極的に活動いたしますのでご理解、ご協力をお願いいたします。



各種団体との意見交換会

### ～青年部局の活動～

青年部局は、自民党員である満18歳～満40歳までの青年部と、満41歳～満50歳までの青年局の2つで構成されています。

昨年7月の役員会で、平戸市議會議員の神田全記青年局長が選出され、長崎市議會議員の竹田雄亮青年部長(留任)との新体制でスタートしました。

コロナ禍の中、一部活動の自粛や、党本部との会議などは、リモート会議で行われました。一方で、地域支部によっては、青年部局、女性局が設置されていないところもあることから、党勢拡大、組織強化のため、部局の設置や代表者の選出などを提案すべく山本啓介総務会長、中島浩介組織委員長が各地域を訪ね協力を求めることとしています。

将来を担う有益な人材を発掘・育成、地域のリーダーを育てることを目的とした「長崎出島塾」についても、今後の新型コロナを巡る状況を注視しつつ再開を計画いたします。その際には、奮ってご参加いただきますようお願いいたします。



青年部局役員会の様子

### ～女性局の活動～

昨年7月の役員会で、上五島支部の近藤順子女性局長を選出し、新体制の女性局がスタートしました。

新型コロナウイルスの感染症拡大に伴い、さまざまな活動が制限される厳しい状況の中、女性局では、3密の回避など感染対策を十分に取っながら、役員会ならびに新しい県庁舎での研修会などを行いました。さらに長引くコロナ禍による子供たちへの悪影響が懸念されることから、児童虐待防止の「ハッピーオレンジ運動」の広報活動を長崎・佐世保両市で実施しました。また、継続活動である「いどばたキャラバン」についても、佐世保支部女性局の協力のもと、高橋はるみ参議院議員をお迎えして開催することができました。

今後は、女性の地位向上、女性の健康に関する問題、女性目線での子育てに関する要望活動や、地域に根ざした意見交換会などを実施することで、若い世代の参加促進に取り組み女性議員増に向けた体制を構築していきます。



「いどばたキャラバン」佐世保市西方寺本堂

# 自民党所属 県選出国会議員の令和2年の活動報告および新年の抱負



**北村 誠吾** 衆議院第四選挙区支部長 自民党長崎県連会長

「輝かしい令和3年新春を寿ぐ」とは、声高らかに言いづらい年明けとなりました。「コロナ禍」にありますが、年の改まりに臨み厳粛な気持ちは湧いてまいります。

自由民主党長崎県連所属の党員・党友の皆さま方には、新春をいかがお迎えでしょうか。

新型コロナウイルス禍を克服し、国民の健康と安全・安心を守る。これが、政権与党として国政に関わる自由民主党に課せられる何にも増して最重要・喫緊の課題であることは言うを待ちません。

その上でのことではありますが、今年は、「第5期・長崎出島塾」の再開を何としても果たしたい、と、長崎県連会長として強く念じております。

『長崎県から日本を動かそう!』…その原動力とならんとする政治を志す若者たちがこの出島塾には、多数おります。例年春の開講が叶わず、遅ればせながら昨年12月の開講を目指しましたが、果たせませんでした。今なお厳しい状況下にはありますが、感染の拡大防止・予防に細心の注意を払いながら、いかにして開講を果たすか、こうした若者に対する私ども自民党長崎県連の責務と心得て、青年部局を中心に県連組織を挙げて万全を尽くします。



▲「国会の花形」参院予算委員長  
**金子原 二郎** 参議院選挙区第一支部長

昨年より猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、例年とは違う新年をお迎えのことと存じます。新型コロナウイルス感染症により亡くなられた全ての方のご冥福をお祈りするとともに、罹患された皆さまならびに感染拡大による生活への影響を受けている皆さま方に対しまして心よりお見舞い申し上げます。また、日々医療現場の最前線で活動されている医療従事者の皆さま方には深甚なる敬意と感謝の意を表します。長崎県選出の参院議員として、皆さまに寄り添いながら一日も早い事態の収束に向けて引き続き全力で取り組んでまいり所存です。

さて、昨年の秋に約3年間務めてまいりました予算委員長の職を退任いたしました。在任期間中はこれまでにない数多くの事案を取り扱った予算委員会と言っても過言ではなく、国会中継をご覧になった多くの皆さまから激励を頂き励まされたことは感謝に堪えません。厚く御礼申し上げます。

結びに、長崎県内には数多くの課題が山積していますが、これからも地元の視点に立って着実な政策実現に取り組んでまいり所存でございますので、引き続きのご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



**谷川 弥一** 衆議院第三選挙区支部長

昨年は新型コロナウイルスの世界的流行により、国内及び県内の経済は大打撃を受け、日本国内においても海外のようなロックダウンは避けましたが、不要不急の外出自粛、緊急事態宣言、3密を避ける新しい生活様式の確立と私たちの暮らしに大きな影響を与えました。一日も早くコロナ禍を終息させなければなりません。

また、九州地方に被害をもたらした令和2年7月豪雨、台風9・10号など自然災害の多い年でもありました。国民のいのちを守るために、防災・減災、国土強靱化を一層進めていかなければなりません。

私は自民党離島振興特別委員長として、離島地域の発展のために、有人国境離島関係の予算の確保、離島航路の維持について関係各所に要望しました。人口減少などの課題を解決し、わがふるさとを守るために努力してまいります。

また、九州新幹線西九州ルート早期完成、地元の懸案である東彼杵道路などの整備促進、農林水産業の発展など地元地域のためにより一層、活動してまいります。

本年は、衆議院選挙の年であります。地元長崎の皆さまのために引き続き努力してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。



**富岡 勉** 衆議院第一選挙区支部長

日頃より皆さまのご支援ご指導に深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大が収束の兆しが見えないまま、新しい年を迎えました。皆さま方におかれましては、さまざまなご労苦を乗り越えての新年となり思いもひとしおのことと存じます。

この国難ともいえる状況の中、全国民一丸となって、感染対策と経済活動の両立を図っていかなければなりません。

政府は昨年12月8日に事業規模73.6兆円の追加経済対策を決定しました。私も、党内閣第一部会長として新型コロナ感染拡大防止策や経済構造の転換・好循環などに、全身全霊をかけて推進してまいります。特に、これまでの医師の経験、知識を十分に生かして、「感染の終息こそが最大の経済対策である」との信念のもと、行政・大学・経済界などと緊密に連携を図りながら、長崎の病院資源の適切な機能体制の確立・維持に全力を傾注します。

本年は衆議院議員総選挙の年です。衆議院は常在戦場。一日も無駄にすることなく精進してまいります。

コロナ禍を克服し、皆さまにとって希望の光を見る歴史に残る年にできるよう祈念いたしまして私からのご挨拶といたします。



▲雲仙市の災害現場を視察する農水副大臣  
**加藤 寛治** 衆議院第二選挙区支部長

昨年まで農林水産副大臣を勤めさせていただきました。約一年間に渡る職責を全うすることができましたのは、ひとえに皆さまの厚いご支援のお陰でございます。改めて衷心より感謝申し上げます。

私は、さまざまな農林水産業施策の中でも特に農林水産業に携わる方の所得を向上させる取り組みを推進してまいりました。若者や新たに農林水産業に携わろうとしている皆さまが夢や希望を持って自らの将来を託すためには、所得の向上が必要です。例えば、農地の基盤整備を進めた地域の農業所得は確実に向上しております。所得が向上したことにより、私の地元の島原半島をはじめ出生率が向上した地域もあります。一次産業の振興に成功すれば二次産業や三次産業にもその効果が波及し、地域全体で経済の好循環が生まれます。

さらに、その効果を最大限に発揮するためには高規格道路や新幹線などを整備して大都市圏への人・物の移動の利便性を向上させる必要があります。長崎県の現状を見ますと、まだ道半ばであります。

国難であるコロナ禍を克服し、日本の一次産業の振興と地方創生を成し遂げるため、本年も一層まい進していく所存でございます。

本年が皆さま一人一人にとって、実り多き、素晴らしい一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。



**古賀 友一郎** 参議院選挙区第二支部長

昨年はコロナ禍の1年でしたが、私としては、昼夜の会合が激減し週末も東京滞在となったため、まとまった時間を生かして特に政策に取り組んだ年になりました。

主なものとしては、新型コロナ対策に関し、参議院自民党政策審議会副会長として参議院自民党の提言を作成したほか、岸田文雄政務調査会長(当時)の下、党のプロジェクトチームに参画し家賃支援給付金を創設しました。

また、わが国の最重要課題である少子化対策についても、参議院自民党としての提言を作成し、政府の第4次少子化社会対策大綱に反映させました。そして、大綱を促進するためのプロジェクトチームを党本部に立ち上げ、現在は自民党少子化対策特別委員会の事務局長として取り組んでいます。

さらに、いわゆる「あおり運転」対策について、免許取消処分の対象に追加するよう自民党交通安全対策特別委員会などで訴え、厳罰化と合わせた道路交通法改正を実現しました。

国会での質問も、参議院本会議で自民党代表質問1回、内閣委員会で4回行いました。

新型コロナを克服し、新時代の扉を開くべく、引き続き山積する我が国及び県内の諸課題に精力的に取り組んでまいりますので、本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

## 自民党長崎県連ホームページがリニューアルして使いやすくなりました!! ぜひご覧ください。

ホームページを令和2年9月にリニューアルし、スマートフォンからの閲覧にも対応しました。新たにトピックスの欄を設け、県連、政務調査会、広報委員会、青年部局、女性局などのニュースや情報をカテゴリーごとに随時更新しています。県連が知事へ要望した内容なども詳細なデータで公開しておりますのでぜひご利用ください。Facebookも随時更新中で、トップページにトピックスと並んで掲載しています。

新型コロナ関連の情報についても、トップページのリンクから、県や各省庁のホームページ、党が運営する特設ページにアクセスし確認していただくことができます。

これからも、皆さまに党長崎県連の活動やさまざまな情報をわかりやすく発信できるよう、随時更新してまいります。ぜひ一度ご覧ください。

また、ご意見、ご要望などがございましたら、お問い合わせ欄にご投稿ください。

(広報委員長 ごうまなみ)



自民党 長崎

検索

または、右記QRコードで簡単アクセス!!



新型コロナ  
あなたへの支援  
(自民党特設ページ)